

新フェロー紹介 (2018年)

フェローは、オペレーションズ・リサーチの研究と発展に多大なる貢献をなされた方に、その功績を称えて贈られる称号です。新フェロー6名の方が理事会で以下のとおり選ばれました。フェロー記は、2018年3月15日の春季研究発表会（東海大学）にて贈呈されました。

武田 朗子 (たけだ あきこ) 氏



昭和48年7月生まれ

【学歴】

平成13年 東京工業大学大学院情報理工学研究科数理・計算科学専攻博士後期課程修了
(博士 (理学))

【職歴】

平成13年 (株)東芝研究開発センター 研究員

平成15年 東京工業大学数理・計算科学専攻 助手

平成20年 慶應義塾大学理工学部 専任講師

平成23年 同大学理工学部 准教授

平成25年 東京大学大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻 准教授

平成28年 統計数理研究所数理・推論研究系 教授

平成30年 東京大学大学院情報理工学系研究科創造情報学専攻 教授、現在に至る

この間、理化学研究所革新知能統合研究センター連続最適化チーム チームリーダー

【OR学会関係】

平成15年 第15回RAMPシンポジウム実行委員

平成15～18年 アルゴリズム研究部会幹事

平成18～22年 庶務幹事

平成18年 OR事典事例編編集編集委員

平成25年 第25回RAMPシンポジウム実行委員

平成28年 第6回研究賞

平成29年～ 国際理事

武田氏はオペレーションズ・リサーチの手法を基軸としながら、機械学習、エネルギーシステムといった他分野の問題に取り組み、当該分野の専門誌に採択されている。これは、オペレーションズ・リサーチの分野横断性を反映したものであり、実学としてのオペレーションズ・リサーチの有用性を示しているものと言える。平成28年には、機械学習における非凸最適化問題の効率的解法に関する成果で、本学会研究賞を受賞している。また、研究部会の幹事やシンポジウム実行委員、国際理事等を務めるなど、さまざまな形で活躍・貢献している。

中川 慶一郎 (なかがわ けいいちろう) 氏



昭和41年8月生まれ

【学歴】

平成4年 早稲田大学大学院理工研究科機械工学専攻修士課程修了

平成12年 同・経営システム工学専攻博士課程満期退学(博士(工学))

【職歴】

平成4年 NTTデータ通信(株)(現・(株)NTTデータ)入社

平成15年 同・技術開発本部開発担当 シニア・スペシャリスト

平成21年 同・技術開発本部IT活用推進センター 部長

平成24～29年 (株)数理システム(現・(株)NTTデータ数理システム)に出向 取締役

平成29年 (株)NTTデータに復帰, 技術革新統括本部技術開発本部エポリユーショナルITセンター長, 現在に至る

この間, 大阪大学経済学部 非常勤講師, 早稲田大学理工学部 非常勤講師, 明治大学商学部 特別招聘教授

【OR学会関係】

平成11～14年 マーケティング研究部会 監事・主査

平成11～14年 機関誌編集委員

平成18～19年 広報理事

平成24～25年 監事

平成27～28年 副会長

平成16～17, 20～23年 代議員

中川氏は, マーケティング・エンジニアリングの学術研究やNTTデータでの研究開発からビジネス・アナリティクスのコンサルティングまで幅広く活動しており, NTTデータが平成15年に受賞した実施賞の中心メンバーである。マーケティング研究部会の幹事・主査を務め, 平成6年より行われていた「データ解析コンペティション」にて, ビジネス・アナリティクス, DB等の他学会の研究部会との連携を推進するなど, 同コンペティションの規模拡大に寄与した。また, 本学会副会長職を務めるなど, 学会の発展にも貢献した。

廣瀬 英雄 (ひろせ ひでお) 氏



昭和26年12月生まれ

【学歴】

昭和53年3月 九州大学理学部数学科卒業

昭和63年5月 工学博士(名古屋大学)

【職歴】

昭和52年 (株)高岳製作所入社

平成元年～2年 アメリカ合衆国スタンフォード大学統計学科 研究員

平成7～10年 広島市立大学情報科学部 教授

平成10～16年 九州工業大学情報工学部 教授

平成27年 広島工業大学環境学部環境学部 教授

【OR学会関係】

平成21年 秋期シンポジウム実行委員長

平成24年 九州支部・中国四国支部の合同若手OR研究会の企画実施

平成24～25年 九州支部支部長

平成25～26年 本部理事

平成26～27年 代議員
平成27年 秋期研究発表会実行委員長
平成29年 中国四国支部顧問

廣瀬氏は、IEC/TC112国際エキスパートとして貢献し、絶縁破壊電圧推定や電力機器の寿命推定など統計の信頼性分野で先駆的研究成果を上げ、IEEE Reliability Society Japan Chapter Award (Best Paper)を受賞している。また、感染症流行予測に関して、微分方程式モデル、確率分布モデル、エージェントモデル、インターネットモデルなどの予測法を組み合わせる方法論を提案し、この成果はIEICEのFundamentals Review (2017)招待論文で紹介されている。さらに、教育分野では、習熟度評価法に項目反応理論を積極的に適用して、大規模オンラインテストシステムを構築し、大規模データベースを基盤としたアナリティクスについて実用的で効果的な研究成果を発表し、2009年にCIEC論文賞受賞、Int Conf Comp & Adv Tech in Education Best Paper Awardを受賞している。

矢島 安敏 (やじま やすとし) 氏



昭和39年4月生まれ

【学歴】

平成 2年 東京工業大学大学院理工学研究科後期博士課程中退
平成 5年 博士 (工学)

【職歴】

平成 2年 東京工業大学工学部経営工学科 助手
平成 6年 同大学大学院情報理工学研究科 講師

平成 8年 同大学大学院社会理工学研究科 助教授

平成20年 (株)ブレインパッド入社

平成29年 オリックス(株)入社、現在グループ戦略部門システム企画部

【OR学会関係】

平成 4年 研究普及委員
平成 5～ 9年 機関誌編集委員
平成14～15年 庶務幹事
平成14～16年 情報化委員
平成16年 名簿刊行委員、無任所理事
平成17～20年 広報委員
平成17年 広報理事
平成17～23年 OR事典編集委員
平成19～21年 庶務理事
平成18, 22年～現在 代議員

矢島氏は、大学において数理最適化や機械学習アルゴリズム、データマイニングなどの教育と研究に従事された。その後、民間企業において、ビッグデータ分析やOR手法を用いたさまざまな実務課題の解決に取り組まれている。

学会活動では、極めて多数の委員、理事などをされ、本会に対する貢献には大変大きいものがある。委員、理事などとして、機関誌の編集、学会の広報・情報化活動、OR事典編集などに多大な貢献をされたことは特筆すべきものである。また、学会活動の活性化に努められ、研究発表会での講演や、機関誌への投稿もされている。

猿渡 康文 (さるわたり やすふみ) 氏



昭和39年8月生まれ

【学歴】

昭和62年 東京理科大学工学部第一部経営工学科卒業

平成元年 同大学大学院工学研究科経営工学専攻修士課程修了

平成4年 同大学大学院工学研究科経営工学専攻博士後期課程単位取得退学

平成5年 博士(工学)

【職歴】

平成4年 防衛大学校社会科学教室 講師

平成9年 筑波大学社会工学系 助教授

平成16年 国立大学法人筑波大学大学院ビジネス科学研究科 助教授

平成19年 同大学大学院ビジネス科学研究科 准教授

平成19年 同大学大学院ビジネス科学研究科 教授

平成23年 同大学ビジネスサイエンス系 教授

【OR学会関係】

平成6～11年 研究普及委員

平成14～20年 庶務幹事

平成16年～現在 代議員

平成24年～平成26年 理事(広報担当)

平成27年～現在 理事(編集担当)

その他、研究発表会実行委員、広報委員、OR事典編集委員、表彰委員などを歴任

猿渡氏は、通算6年にわたり、本学会の理事を担当するなど、本学会の運営に多大なる寄与を果たしてきた。また、組合せ最適化、スポーツとOR、マーケティング、金融工学などの分野で顕著な理論的な研究業績を上げるに留まらず、筑波大学社会人大学院において多数の大学院生を教育し、彼らとともに数多くの実務的な論文や著作も発表している。猿渡氏が指導した社会人大学院生が各大学などで実務に精通した研究者教員として働き、次世代のOR研究者や実務家を育て、ORの裾野を広げることに大いに貢献している。

牧本 直樹 (まきもと なおき) 氏



昭和39年4月生まれ

【学歴】

平成4年 東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了(博士(理学))

【職歴】

平成4年 東京工業大学理学部 助手

平成6年 東京工業大学大学院情報理工学研究科 講師

平成10年 筑波大学社会工学系 助教授

平成19年 筑波大学大学院ビジネス科学研究科 教授

平成23年 筑波大学ビジネスサイエンス系 教授、現在に至る

【OR学会関係】

平成6～9年 論文誌編集委員

平成10～14年 40周年記念国際交流事業実行委員

平成17～現在 国際委員

平成17～18年 国際理事

平成 19年 秋季研究発表会・50周年記念事業実行委員
平成 19～22年 OR事典編集委員
平成 20～23年 機関誌編集委員
平成 21～22年 編集理事（機関誌）
平成 24～27年 学会活性化委員会委員
平成 24年～現在 代議員

牧本直樹氏は、待ち行列や金融工学を中心とする確率モデルの理論研究で顕著な研究業績を上げるとともに、筑波大学大学院では多数の社会人学生を指導し、ORの理論と実務をつなぐ研究成果を発表されている。また、機関誌編集委員長や国際理事をはじめとして学会運営においても多大な貢献をされている。